

芸術不動産モデル事業（アーティスト拠点形成事業）vol.2 長者町コンプレックス・ビル（仮称）入居者募集。

アーツコミッション・ヨコハマは、「芸術不動産モデル事業」を実施します。本事業は、横浜の都心部にアーティストやクリエイターの滞在・制作、発表等のための場所を創出するため、不動産オーナーとアーティスト等のマッチングを図り、新たな創造の場を生む実験事業です。

第2弾となる今回は、横浜市中区長者町にあるビル一棟の入居者を募集します。

築45年、歓楽街にある空きビルが、アーティスト、オーナー、地元住民、建築家の手により再生し、街に新たな魅力が生まれることを期待しています。



芸術不動産モデル事業 vol.2

「長者町コンプレックス・ビル（仮称）」入居者募集

- 対象物件：第一田浦ビル（横浜市中区長者町9丁目）
昭和39年築／専有面積：457㎡／構造形式：RC4階建
- 募集対象：ビル一棟を借り受け、経営できるアーティスト、クリエイター、アートディレクター等。
- 募集期間：平成22年3月1日（月）～20日（土）
- 申込先：アーツコミッション・ヨコハマ（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、横浜市開港150周年・創造都市事業本部）
横浜市中区本町6-50-1 TEL 045-227-7322

<お問合せ>

- *現場及びオーナーへの取材をお願いいたします。ご希望の方は、下記へご連絡ください。
芸術不動産に関する総合的な取材もコーディネートします。詳しくは、お問い合わせください。
アーツコミッション・ヨコハマ 担当：杉崎 Tel 045-227-7322

参考 <芸術不動産とは何か？>

「芸術不動産」とは、アーティスト、クリエイターの創作の場づくりのため、民間の賃貸物件を開拓していく事業の総称です。横浜では、これまで、北仲ブリック&ホワイト、本町ビル、万国橋SOKOなど、民間物件が転用され、アーティスト、クリエイターの活動の場が生まれています。本事業は、老朽化したビルや、空き物件の魅力的な使い方をアーティストやクリエイターに発見してもらい、街に新たな活力をもたらすことを目指しています。

アーツコミッション・ヨコハマ

Arts Commission・Yokohama



アーツコミッション・ヨコハマは、横浜市開港150周年・創造都市事業本部と財団法人横浜市芸術文化振興財団が共同で運営する中間支援事業です。横浜市が推進する“芸術文化のもつ創造性を活かしたまちづくり”「クリエイティブ・シティ・ヨコハマ」の一環として、横浜に集うアーティスト、クリエイターをはじめとする様々な“創造の担い手”たちの活動支援を目的としています。